

新宿の桜も満開です。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。W杯アジア2次予選の全日程が29日に終了し、最終予選に進出する12チームが決まりました。最終予選に進出できる各組2位のうち成績上位4チームをめぐる争いが熾烈を極めた。F組のインドネシアが出場除外となった事を考慮し、それ以外のグループは最下位のチームとの対戦結果を除いた成績で争われたため、波乱が起きた。最終予選進出国はサウジアラビア、オーストラリア、カタール、イラン、日本、タイ、韓国、ウズベキスタン、イラク、シリア、UAE、中国。6チームずつ2組で争われ、組み合わせ抽選は4月12日に。中村

平成28年6月施行の 「建設業法施行規則の一部を改正する省令」

(1) 解体工事に係る技術者要件の見直し

ア 解体工事業の指定学科を「土木工学又は建築学に関する学科」とする。

イ 解体工事に係る一般建設業の営業所専任技術者（主任技術者）の要件を以下のとおり定める。

- ① 一級土木施工管理、二級土木施工管理（種別「土木」に限る。）
一級建築施工管理、二級建築施工管理（種別「建築」又は「躯体」に限る。）
- ② 技術士 技術部門を建設部門又は総合技術監理部門（選択科目を建設部門に限る。）
- ③ 技能検定 一級のとび
- ④ 登録試験のうち、種目を解体工事とするもの（登録解体工事試験）に合格した者
- ⑤ 土木工事業及び解体工事業に関し12年以上実務の経験を有する者のうち、解体工事業に関し8年を超える実務の経験を有する者
- ⑥ 建築工事業及び解体工事業に関し12年以上実務の経験を有する者のうち、解体工事業に関し8年を超える実務の経験を有する者
- ⑦ とび・土工工事業及び解体工事業に関し12年以上実務の経験を有する者のうち、解体工事業に関し8年を超える実務の経験を有する者

ウ 平成33年3月31日までの間は、既存のとび・土工工事業の技術者を、解体工事に係る一般建設業の営業所専任技術者（主任技術者）として認めることを経過措置として規定。

また、一級土木施工管理、二級土木施工管理（種別「土木」に限る。）、一級建築施工管理、二級建築施工管理（種別を「建築」又は「躯体」に限る。）の既存合格者については、登録講習の受講又は解体工事に関し1年以上の実務経験を有していることにより解体工事の技術者として認めることを規定する。

(2) とび・土工・コンクリート工事に係る技術者要件の見直し

とび・土工・コンクリート工事に係る一般建設業の営業所専任技術者（主任技術者）の要件として、とび・土工工事業及び解体工事業に係る建設工事に関し12年以上実務の経験を有する者のうち、とび・土工工事業に係る建設工事に関し8年を超える実務の経験を有する者を加える。

(3) 解体工事業の追加に伴う各種様式の改正

(4) 登録講習の修了に係る情報の監理技術者資格者証への記載

監理技術者講習修了証の交付を取りやめ、監理技術者資格者証に修了した旨を記載することとする。

(5) 建設業許可の変更届出の対象追加

社会保険の加入状況を変更届出の対象とする。

(6) 施行期日 この省令は、平成28年6月から施行することとする。（藤田）

業種区分について
「解体工事」について
新設

知っちよい得

老女は、動揺しながら「よく来るセールスマンの人と世間話をしているだけよ。一日中することが無いからそれでも気が晴れて助かっているの。」と言った。息子が「セールスマン？母さん何か変な物を買わされているんじゃないの？大丈夫？」と言うと、老女は「少し付き合いで買っているものがあるぐらい。心配いらぬから」と答えた。息子は疑念が全て晴れた訳ではなかったが、普段母の相手をしていない負い目があり母親をそれ以上問い詰めるのも気が引けたので、それから暫く世間話をしてから老女の家を出た（続く）。

千代田区六番町3番地1 協和ビル6階
弁護士渋谷和洋

建設業Q&A

Q：建設業許可申請において、住民票にマイナンバーの記載は必要なのでしょうか？

A：必要ありません。マイナンバーが記載された住民票をご用意いただいても、かえって、記載されていない住民票を取り直していただくことになってしまいます。なぜなら、建設業許可申請はマイナンバーを取り扱う手続きにあたらなため、審査行政庁がマイナンバーの記載された住民票を受け取れないためです。（佐藤）

四月の季語

4月は季語が多いそうです。春の空、長閑（のどか）、麗か（うららか）、初桜、山葵（わさび）、春暁、朧月。春らしい言葉が続きます。草花の言葉も多くあります。桜草、木蓮、金鳳花（きんぽうげ）、チューリップ、ヒヤシンス、シクラメン、スイートピー、菜の花、杉の花。杉の花は、花粉症の方にはつらそうです。入学、花見、運動会、遠足、苗代、汐干狩り、朝寝、春眠、風光る。楽しそうな言葉が多いですね。

新年度の始まりに、気持ちを新たにしたいと思います。（佐藤）

